

# ぎ か い の 木

## CONTENTS

3月定例会の審議	……P2～3
常任委員会審査報告	……P4～5
所管事務調査報告	……P5
代表質問	……P6～7
一般質問	……P8～11
特集	……P11
議会の動き	……P12

NO.90 令和8年3月31日号

3月定例会などの内容をお伝えします。

おーいかまぐらのゴングロー!

無病息災と五穀豊穡を祈る小正月行事

～ 葛黒火祭りがまぐら(2月15日) ～



3月定例会最終日の様子は  
こちらのQRコードから  
ご覧いただけます。



起立採決（議案第26号 令和8年度北秋田市一般会計予算）

# 令和8年度一般会計当初予算は 256億7469万2000円

## 令和8年 3月定例会

主な令和8年度予算	予算額
路線バスフリーパス助成金	789万1千円
窓口業務DX化事業	3263万4千円
ハッピーアニバーサリー事業	558万4千円
妊婦のための支援給付事業	960万円
ゼロカーボンハウス推進補助金	780万円
水道料金減免分の一般会計繰出金	4122万4千円
外国人就労者確保支援事業	1000万円
有害鳥獣駆除事業	5288万3千円
道の駅たかのす整備事業	2億6019万3千円
住宅リフォーム支援事業補助金	2700万円
鷹巣中学校体育館改築事業	2億8048万5千円
ICT学習環境整備事業	2394万7千円
縄文シティサミットinきたあきた開催補助金	300万円

令和8年北秋田市議会3月定例会は、2月12日から2月26日までの15日間の会期で行われました。今定例会では、承認1件、条例案13件、補正予算案12件、当初予算案19件、単行議案8件、報告1件のほか、最終日には、人事案件の追加提案4件が提案され、原案のとおり承認、可決及び同意としました。

また、陳情3件については、2件を採択、意見書を提出することとし、1件を不採択としました。

### 3月定例会の主な議事

- 北秋田市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市長、副市長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市比立内地区コミュニティセンター条例を廃止する条例の制定について
- 令和7年度一般会計補正予算
- 令和7年度各特別会計補正予算
- 令和7年度各事業会計補正予算
- 令和8年度一般会計予算
- 令和8年度各特別会計予算
- 令和8年度各事業会計予算
- 北秋田市クウインズ森吉の指定管理者の指定について
- 北秋田市コンベンションホール四季美術館の指定管理者の指定について
- 北秋田市農産物等直売所の指定管理者の指定について
- 北秋田市上杉あいターミナルの指定管理者の指定について

# 賛否が分かれた議案等の表決状況

○：賛成 ●：反対 ▼：欠席もしくは退席 除：除斥

所属党派・議員氏名 議案名	採決結果	清明会					新創会					日本共産党 議員団		公明党	無党派				
		小笠原 寿	永井 昌孝	佐々木正史	松橋 久敏	中嶋 洋子	長崎 克彦	堀部 壽	佐藤 文信	松橋 史尚	杉淵 一弘	五代義 富	佐藤 重光	板垣 淳	三浦 倫美	久留嶋 範子	福田 牧子	木村 謙一	福岡 由巳
※議長は採決には加わりません。																			
議案第2号 北秋田市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	●	●	●	○	●	●
議案第3号 北秋田市長、副市長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	●
議案第14号 令和7年度北秋田市一般会計補正予算(第15号)	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	●
議案第26号 令和8年度北秋田市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	●
議案第42号 令和8年度北秋田市病院事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	●
議案第43号 令和8年度北秋田市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
陳情第53号 森吉山荘の温泉と食事提供を含めた再開を求める陳情	不採択	●	●	●	●	●	●	-	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○

※賛否が分かれた議案等の表決状況及び賛否・反対討論は、原案に対して「賛成」か「反対」かを掲載しています。

## 賛成・反対討論

### ▼議案第2号

#### 反対討論

板垣 淳 議員

『こんなとき議員の手取り上げる案』。これは毎日新聞に載った川柳。多くの市民も同じ思いでしょう。値上げ総額約900万円は市民のくらしのために使ってほしいと思う。

#### 反対討論

福岡 由巳 議員

物価高騰の折、まず率先して手掛けるべきことは市民のくらしを守る政策の充実であり、今回の「灯油購入助成金」のような政策の追加である。議員報酬引き上げは時期尚早で見送るべきである。

### ▼議案第3号

#### 反対討論

板垣 淳 議員

同じ規模の市にあわせるため給与を上げるといいますが、当市の人口は13市で下位なのに市長給与は上から4番目。人口が2倍の大館市などよりも高い。これを下げなければ辻褄があわない。

### ▼議案第14号

#### 反対討論

三浦 倫美 議員

道の駅たかのす整備事業予算に反対。大型事業にお金をかけるより災害対策に力を入れて欲しい。との声がある。住民合意が充分でない事業は推し進めるべきでない。くらし最優先の予算が求められる。

### ▼議案第26号

#### 反対討論

板垣 淳 議員

議員は、報酬(月)3万円引き上げ、

市長は公用車がまだ8万kmしか走っていないのに750万円の高級車を買う。一方、市民には物価高騰対策がまったくない。こんな予算は認められない。

#### 反対討論

福岡 由巳 議員

基幹産業である農業においては、就業人口は激減しているとともに高齢化していることは深刻である。同様に酪農、果樹、花卉経営の衰退も厳しい現状からいえず、抜本的な政策・予算が求められる。

### ▼議案第42号

#### 反対討論

久留嶋 範子 議員

昨年の分娩取り扱い中止に続き、小児科、婦人科の入院受け入れも中止。不安の声が上がっている。新年度の施政方針も、従前と同じ。常勤医師の確保が喫緊の課題。厚生連との連携強め、改善策が必要。

#### 反対討論

福岡 由巳 議員

4月から許可病床数を大幅に減少させ6病棟を3病棟にし約90億円の建設費は莫大な無駄遣いとなる。同時に、常勤医師等の不足で診療科目が減少するなど医療環境の後退は市民が納得できるものではない。

### ▼議案第43号

#### 反対討論

福岡 由巳 議員

6月議会で水道料金引き上げに反対している。物価高騰の折、上下水道両公共料金引き上げは他にも大きく影響を与えるものと危惧する。15年も審議会を開催しなかったことも一因で市の責任は大きい。

### ▼陳情第53号

#### 賛成討論

板垣 淳 議員

原案に賛成。地域住民は以前と同じ温泉と食事提供がある形での再開を願っている。それは観光の面からも必要で、国定公園になったとき温泉も食事もない簡易施設では恥ずかしい。

#### 反対討論

佐々木 正史 議員

温泉・食事提供を求める陳情は、現在進めている計画に影響を及ぼし、早期営業に遅れを来すことになるため、残念だが反対する。

#### 賛成討論

福岡 由巳 議員

観光産業は「外貨」を稼ぐのが大きい目的であり、そのために付加価値を付け利益を上げる施策が必要であり、国定公園を目指す今、陳情書は理にかなない地元住民の要望を真摯に受け止めるべきである。

#### 反対討論

小笠原 寿 議員

土地の売買が進まず、簡易型宿泊施設でも4億6千万以上かかる中で、指定管理者の応募が無く、湯量の確保が難しくして休止に至った経緯からも地元住民の気持ちは充分察するが、元の形の再開は困難。

#### 反対討論

松橋 史尚 議員

陳情にある食事提供は今後の指定管理者の経営方針次第だが、温泉提供に関しては湧出量から鑑みて分湯方式は難しいのと、新たな掘削作業に掛かるコスト等も加味すると非常に困難だと考える。

## 総務文教常任委員会 ふるさと納税の返礼品割合は

【委員長】小笠原 寿 【副委員長】五代儀義富 【委員】杉渕一弘／板垣 淳／長崎克彦／堀部 壽

当委員会に付託された案件は、承認1件、条例案4件、予算案13件、単行議案5件の計23件でした。

一般会計補正予算の税務課の審査では、委員から「他市町村では、固定資産の評価額が随分下がっていると聞くが、当市の場合はどうか」との質疑があり、当局からは「3年に一度評価替えがあり、最近では令和6年度に行っている。当市では、全体的に下落傾向であり、その影響を加味した予算措置をしていたが、建物の新築や増改築もあり、増額補正となった」との答弁がありました。

一般会計当初予算の総合政策課の審査では、委員から「ふるさと納税の返礼品は地元農産物が3割以下、事務費を合わせ5割以下というルールがある。返礼品と事務費を足すといくらになるか」との質疑があり、当局からは「49・91%を見込んでいる」との答弁がありました。

単行議案の北秋田市議会議員の議員報酬及び費用弁償等

に関する条例の一部を改正する条例の制定についての審査では、委員から「報酬を引き上げることによって、秋田県内13市の中で何番目になるか」との質疑があり、当局からは「今までは13市中12番目であったが、今回の改正により、11番目となる」との答弁がありました。採決するにあたり討論があり、反対の立場から「物価高で実質賃金が目減りしている社会情勢の中で申し訳ないという気持ちで反対」、賛成の立場から「現在の我々に対する提案というより、改選後の次の議員に対する提案と受け止め賛成」と討論があり、採決の結果、賛成多数で原案の通り可決すべきものと決しました。審査を踏まえ、その他の提出議案は、全会一致及び賛成多数で原案の通り可決すべきものと決しました。

(委員長 小笠原 寿)



割合は49.91%の見込み

## 市民福祉常任委員会 資源ごみ減少が招く委託料の増加

【委員長】永井昌孝 【副委員長】福田牧子 【委員】木村謙一／久留嶋範子／中嶋洋子／佐藤文信

当委員会に付託された案件は、承認1件、条例案6件、予算案16件の計23件でありました。

『一般会計補正予算』医療健康課の審査で委員から「特定健診の委託料が大幅に減額された理由は」との質疑がありました。当局からは「受診率が目標の40%に届かなかつた。今後の対策として、個別医療機関での受診をPRしていく」との答弁があり全会一致で可決すべきものと決しました。

『令和8年度一般会計』生活環境課の審査で委員から「リサイクル資源の回収量減少による委託料の増額」について質疑があり、当局からは「民間事業者の収集努力や書類の電子化が要因。市リサイクルセンターへの搬入量が減ると、結果的に市の委託料(ごみ処理費用)負担が増加してしまう仕組みになっている。市のリサイクルへの協力を呼びかけたい」との答弁がありました。また、旧クリーンリサイクルセンター跡地の活用について、委員から「解体を

含めた跡地利用計画の策定」についての質疑があり、当局からは「跡地を有効活用することで『過疎対策事業債』などの有利な財源を充当できるよう、コンサルからの提案と合わせ基本計画を策定する」と答弁がありました。また、市民課の審査で総合窓口センターのシステム更新について、委員から「市民の皆さんが混乱するのでは」との質疑に、当局から「新たに『DX総合案内人』を1名配置するほか、広報やSNSを通じて周知を徹底する」との答弁がありました。これを踏まえ、賛成多数で可決すべきものと決しました。

『令和8年度病院事業会計予算』では、「分娩取扱中止、病床数削減により、市民が不安に。厚生連との連携や改善策を急ぐべき」との反対意見が出されましたが、審査の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決しました。その他の議案20件は審査の結果いづれも全会一致で可決すべきものと決しました。

(委員長 永井昌孝)

産業建設常任委員会 森吉山スキー場は計画的に更新

[委員長]松橋久敏 [副委員長]福岡由巳 [委員]三浦倫美/松橋史尚/佐々木正史/佐藤重光

当委員会に付託された案件は、承認1件、条例案3件、予算案6件、単行議案3件、陳情3件の計16件でした。

令和7年度一般会計補正予算の産業政策課の審査では、委員から「プレミアム付応援チケットの追加販売について、昨年は市民からの苦情が多くあった。年金支給日を意識し、早めに周知すべき」との質疑に、当局からは「来年度は通常販売を5月まで予定している。その後の追加販売は6月の年金支給日に配慮した日程とし、市民への周知を図りたい」との答弁がありました。

当局からは「令和6年度に実施したゴンドラ及びリフトの索道診断から修繕や更新が必要な箇所が判明している。今後は、優先度の高い箇所から計画的に更新を進めていく」との答弁がありました。

採決では、令和7年度一般会計補正予算、令和8年度一般会計予算、令和8年度水道事業会計予算については賛成多数で、このほかの議案は全会一致で可決すべきものと決しました。

また、陳情3件のうち「森吉山荘の温泉と食事提供を含めた再開を求める陳情」の審査では「市の計画が変わり、再開時期がさらに遅れる」との反対討論や「市の計画は、国定公園化に向けた方針と乖離する」との賛成討論があり、採決の結果、賛成多数で不採択すべきものと決しました。

(委員長 松橋久敏)



閉会中の所管事務調査報告 《抜粋》

総務文教常任委員会

1月16日に『災害時対応システムと備蓄品について』の調査を実施しました。今年度に県との共同事業で整備が決まった「災害時多人数キッチンシステム」は災害時に在宅や車中泊の避難者を支援して避難生活の質の向上を目的とするもので一度に100人分の食事の提供が可能で、県北では「道の駅たかのす」と「四季美館」に配備されます。また北秋田市地域防災計画の備蓄計画に基づき、想定避難者数を3618人として発災から3日分の19品目を市内18か所に備蓄している事や、災害時に「ラップオントイレ」や「段ボールベッド」を使用する際の説明を受けました。(文責者：副委員長 五代儀義富)

市民福祉常任委員会

1月15日に『北秋田市の介護分野で働く外国人材雇用状況(生活状況)について』調査を実施しました。当局より、介護現場における深刻な人材不足、採用難、職員の高齢化、施設稼働率の低下等の課題に直面、この状況の改善のため特定技能制度を活用した外国人材の受入れの決断をしたとの経緯の説明がありました。その後、介護現場を視察、教育担当者を配置し、夜勤ができるまで仕事に慣れてきている様子や雪国の生活の大変さを聞くことができました。最長5年の在留期間を北秋田市の高齢者のために頑張ってもらいたいと願い視察を終わりました。(文責者：副委員長 福田牧子)

産業建設常任委員会

1月14日に『獣害対策について』の調査を実施しました。当局からは獣害、特に熊に関するこれまでの取組、その実績と課題、今後の方向性の説明等がありました。熊の捕獲頭数は令和5年333頭、令和7年343頭と極めて多くなっていて、委員からは「猟友会は高齢化や会員の減少で難儀されている。行政職員は増やせないものか」との質問があり「北秋田市の人口減少により市職員も減り獣害対策だけに人を増やすのは難しい。一般市民も含めて全体でサポート体制を作っていけるかが鍵になると思う」の答弁など多数の質疑がありました。(文責者：副委員長 福岡由巳)

# 市長の施政方針を問う 会派代表質問

## 《日本共産党議員団》

1. 国内外の情勢
2. 総務部関係
3. 財務部関係
4. 市民生活部関係
5. 健康福祉部関係
6. 産業部関係
7. 建設部関係
8. 教育委員会関係

## 《清明会》

1. 総合政策について
2. 災害対策について
3. 産業振興政策について
4. 教育・生涯学習振興について

## 《新創会》

1. 財政について
2. 財産管理について
3. 生活環境政策について
4. 産業政策について
5. 「道の駅たかのす」リニューアルについて

### 会派代表質問

3人以上の会派の代表が行う、市長の市政方針に対する質問です。

一定の議員数を有する会派ごとに調整して質問することで、重複する質問を減らし、円滑かつ効率的な議事運営を図るために採用しています。

※QRコードから会派代表質問の映像がご覧いただけます

**A** 市民病院を取り巻く環境は厳

る。  
**Q** 市民病院の「良質かつ適正な医療を安定的に」「県内外から医師を誘致」は前年度の施政方針にもあった。だがこの1年、医師は退職し病院も縮小しており、施政方針とギャップがありすぎ

**A** 早期改善が図られるよう対応

**Q** 空き家対策を。

**A** 難しいが可能な範囲で対応し

**Q** タクシーを。

**A** 引き続き取り組む。

**Q** 内陸線運休の際は代替バスや

**A** がない。

**Q** 職員の「ワークライフバランスを保つ」「ハラスメント対策」

**A** がない。

**Q** 昨年

**A** 職員の「ワークライフバランスを保つ」「ハラスメント対策」

**Q** 昨年

**A** 職員の「ワークライフバランスを保つ」「ハラスメント対策」

### クマ対策さらに強化を



板垣 淳  
(いたがき じゅん)



### 日本共産党議員団

しいが、機能維持と充実に全力で取り組む。

**Q** クマ対策の強化を。

**A** 果樹木の伐採、電気柵設置、

緩衝帯整備、ゾーニング管理に

取り組んできた。今後はこれに

加えICT技術を活用した捕獲

などクマと人が出会わない環境

づくりを進める。

**Q** 大雪で道路脇の樹木が倒れ、

交通に支障をきたしたり停電に

なったりした。対策は。

**A** 事前点検とパトロールなどの

予防に努める。

**Q** 小中学校の体育館にエアコン

設置を。

**A** 必要だと思ふ。検討する。



運休時には代替バス等を

清 明 会



小笠原 寿  
(おがさわら ひとし)



災害防止策として  
マンパワー組織を

- Q** 秋田内陸縦貫鉄道の度重なる運休は経営圧迫につながり、信頼も揺らいでしまう。国土交通省の「鉄道事業再構築実施計画」に基づき、県に働きかけて安全対策用の機械・除雪車両の更新を行い環境を整えるべきでは。
- A** 秋田県をはじめとする関係機関との連携を深めながら、安全対策用の機械や除雪車両の更新について必要な働きかけを行っていく。
- Q** 鷹巣地区の雪捨て場の増設を併せて雪捨て場を大型車両用と軽車両用とで区分けできないか。
- A** 雪捨て場の新たな確保や増設については慎重な対応が必要になることから、排雪作業の円滑化を図るため、既存の雪捨て場の運用方法の見直しや、利用区



運休が続いた内陸線

分のあり方について検討する。

**Q** ガバメントハンターを含めたクマ被害防止対策や豪雨・豪雪対策として自衛隊OBなどによる「マンパワー組織」の編成を。

- A** 制度面での整理や適切な人材の確保など慎重な検討が必要。ふるさと納税の寄付額が20億円になる中、今後の産業振興を考える上で、寄付額を活用し「新産業会館」の建設を。
- A** 6次産業化の取組や、新たなビジネスの創出は重要と認識している。しかしながら新たな「新産業会館」を整備しなくても、既存施設の利活用を促進して今後の産業振興は対応可能。

新 創 会



佐藤 文信  
(さとう ふみのぶ)



次世代にバトンは  
振興基金の活用を

- Q** 次世代にバトンを引き継ぐ為、合併時の特例措置の地域振興基金を活用する考えは。
- A** 地域振興や住民の一体感の醸成を図る事業への活用が目的である。持続可能なまちづくりを見据えた計画的な運用を行う。
- Q** 公共施設解体基金が10億円ある。地方債を活用する有効性は。
- A** 基金には限りがある。地方債には交付税措置が見込まれるが慎重な運用が必要である。
- Q** 特定、管理不全空家に至る前に、安心安全な生活環境を図る上で、解体補助金の考えは。
- A** 一部の自治体で補助を実施している事例がある。導入の可能性について研究する。
- Q** 宿泊施設誘致支援委託をホテル誘致にどう活用するのか。

**A** ビジネスや観光目的を想定した宿泊施設の需要ポテンシャルがあるとの分析結果、民間宿泊事業者を対象とした市民対話を実施し、具体化に取り組む。

- Q** 外国人就労確保への取組みと企業誘致対策についての考えは。
- A** 外国人材受入促進支援事業や外国人材住環境整備事業補助金を確保。又、情報関連企業やスタートアップ企業へ訪問し、立地環境や支援制度等を提案していく。
- Q** 道の駅たかのす整備事業を市民に説明会を実施する考えは。
- A** 整備計画の全体像が市民に十分伝わっていない面があった。情報提供の手法を検討する。



旧合川北小学校の老朽状況

活かそう市民の声

# 市政を問う！ 一般質問

一般質問は、2月16日・17日の2日間で行われ、6人の議員が登壇しました。

**三浦 倫美 議員 (P8)**

- ◆除排雪作業員の処遇改善と人員拡充を
- ◆衆院解散総選挙への対応について

**久留嶋 範子 議員 (P9)**

- ◆当市における介護人材の現状と今後について
- ◆防災ラジオについて
- ◆湯ノ岱温泉の今後について

**板垣 淳 議員 (P9)**

- ◆森吉山荘の再開について
- ◆道の駅たかのすの整備計画について

**木村 謙一 議員 (P10)**

- ◆雪害時の防災について
- ◆雪対策について
- ◆育児休業取得について
- ◆キャンプ場について

**福田 牧子 議員 (P10)**

- ◆雪対策事業について
- ◆児童館について
- ◆鷹巣中学校のスクールバスについて
- ◆英語教育の充実について

**福岡 由巳 議員 (P11)**

- ◆第2次北秋田市総合計画の検証について
- ◆北秋田市史の編さんについて

※QRコードから一般質問の映像がご覧いただけます

5台のダンプトラックをオペレーター付きで確保し体制強化した。一部地域で県道と市道が連携し、作業のスピードアップを図った。市発注工事の現場作業を一時中断し、排雪作業にご協力いただくなど、総力をあげて対応に努めた。



豪雪時解散から最短総選挙

## 除排雪作業員の 処遇改善と人員拡充



(日本共産党議員団)

三浦 倫美 議員  
(みうら みちみ)

**Q** 除排雪作業員の過重負担を懸念する。処遇改善と人員拡充が必要。

**A** 大雪時、除排雪作業が長時間、連日に及び、作業員皆様の心身の大きな負担を重く受け止めている。安全最優先に、健康を守るため、作業時間の適正な管理や休息の確保、危険個所の安全対策の徹底など、作業環境の配慮に努めており、今後も現場の状況を丁寧に把握し必要な改善に取り組んでいく。人員確保は人手不足が大きな課題であり、処遇のあり方と担い手確保は表裏一体の関係だと認識しており、必要な対応を検討していく。今冬の豪雪対応で災害対策本部の設置に伴い、国、県の支援で県外市外の事業者から13台、市内から

ター付きで確保し体制強化した。一部地域で県道と市道が連携し、作業のスピードアップを図った。市発注工事の現場作業を一時中断し、排雪作業にご協力いただくなど、総力をあげて対応に努めた。

**Q** 衆議院解散総選挙への対応は。

**A** 解散から選挙まで「戦後最短」16日間の短い日程で大雪の中執行。3月市議会議員選挙を控え準備の最中であつたが、衆議院議員総選挙の準備を最優先で進めた。確定申告相談の時期と重なり、期日前投票所及び当日の投票所への職員配置や、一部投票所の施設使用場所の調整が必要となつた。寒波や大雪により市内各地で交通に支障が生じ、投票所周辺の除排雪対応に特段の配慮が求められた。

久留嶋 範子 議員

(日本共産党議員団)



介護人材不足の現状と今後について

**Q** 介護職員の高齢化による退職者の増加、若年層の人材確保が困難で介護職員不足が深刻化している。市内1法人が外国人材の受け入れを開始、定着を支援するため今後の課題は何か。

**A** 就労面に加え、生活面での支援が重要と受け止めている。安心して長く働き続けられる環境づくりが必要。法人と連携を図りながら支援のあり方を検討していく。

**Q** 介護職員初任者研修を毎年実施しているが、受講者が少ない。対策が必要ではないか。

**A** これまでの研修では、毎年7、8名の受講者を確保し、一定の成果を上げている。7年後からは高校生の生活スタイルに配慮してウェブ対応型の研修を導入し、より

効果的な学習支援が図られる。

**Q** 湯ノ岱温泉の現状と今後についての住民説明会が2月2日に開催され、参加した地元住民からは、再開を望む声が多くあった。当局の説明には納得が行かず、臨時休業はやむを得ないが、今後については、丁寧な話し合いが必要ではないか。

**A** 令和5年度に女性用浴室の壁面が落下。施設の安全を確認しながら男女交代制で継続してきた。1月20日の営業開始前に浴室の天井と床面に新たな不具合を確認し、営業を休止した。近隣に民間施設が営業していることも踏まえると、本地域において行政が温泉施設を運営する役割は、一定の区切りを迎えつつあると判断している。



老朽化し再開困難な湯ノ岱温泉

板垣 淳 議員

(日本共産党議員団)



森吉山荘の形態は  
新年度に最終決定

**Q** 森吉山荘を廃止したこと地域住民が廃止反対の陳情を提出し、議会は全会一致で採択した。これで市も再開に舵をきったが、今度は食事も温泉もない簡易宿泊施設だという。住民は以前と同じ食事と温泉付きでの再開を強く望んでいる。

**A** 森吉山の国定公園化を踏まえ、民間参入などを見極めながら対応を検討する。

**Q** 住民や指定管理者の意向などを踏まえて改めて方針を検討するということか。

**A** それらを含め新年度に最終決定したい。

**Q** 道の駅たかのすの整備について住民から、クマ出没、豪雨・豪雪災害、市民病院縮小、物価高騰、人口減、

少子化・過疎、空き家など「課題がこんなに山積しているときに33億円もかけてハコモノですか」と疑問の声がたくさん出ている。住民投票で信を問う考えはないか。

**A** 全員協議会や定例会で説明している経過を踏まえ、住民投票の実施は必要ないものと考えている。

**Q** 老朽化と交通量激減などにより道の駅がそのままいいとは思わない。しかし税金の使い方に問題がある。どのお店もみな自分で場所を探し自分で建物を建てて商売している。なのに市はモンベルとぶっさん館に土地を買って、建物を建ててあげて、ハイどうぞここで商売してくださいだ。民間会社に市の公的資金を投じるのはおかしい。

**A** 民間活力を活かせる。



再開が予定されている森吉山荘

(きむら けんいち)  
木村 謙一 議員

(無会派)



### 除雪への 支援対応について

**Q** 国道105号線の幸屋渡バイパスで倒木により約8時間に渡り通行止め停電が発生した。火災や救急搬送の要請があった場合の対応は。

**A** 隣接する大曲仙北広域消防本部に応援協力を依頼した。消防団の災害対応能力向上や団員確保など、地域防災力の充実強化に取り組み、  
**Q** 道路除雪で玄関先に残された雪を歩道除雪用の小型ロータリーで処理することができないか。

**A** 歩道用小型ロータリー車は台数や作業時間に限りがあり、全戸の玄関前除雪を行うことは極めて困難と考えている。雪の塊が特に大きく、危険性が高い所については対応の在り方を検討する。

**Q** 高齢者等の除雪困難世帯への支

援の増額を。

**A** 豪雪で福祉の雪事業に対する需要が高まっており、扶助限度額を4万円から6万円に引き上げる。

**Q** 市役所男性職員の育児休業取得について。

**A** 消防職員を除く正規職員の取得率は令和6年度で60%、取得日数は平均で98日、消防職員は、人的余裕がないことから取得実績がない。今後改善できるように検討する。

**Q** 「カラミナイキャンプ場」の利用状況や通行経路や周辺の環境整備への検討は。

**A** 開設期間は、雪解け後の5月中旬から11月上旬までとしている。道路に穴が空いているところとか崩れているところとか、県のほうに話していく。



幸屋渡バイパスの通行止め

(ふくだ まきこ)  
福田 牧子 議員

(公明党)



### 雪対策事業の拡大 子どもの育ち支援

**Q** 高齢化による除雪作業の危険と困難。移住・定住・外国人の生活環境面からも克雪・利雪の抜本的な見直しが必要と考える。雪氷熱エネルギーの利用、自治会の除雪雪共助に対する補助金、屋根の雪下ろしせずに済む対策を。

**A** 雪氷熱エネルギーの活用や地域主体の除排雪活動の支援、克雪用水の確保は、現段階では具体的な事業化を進める段階ではない。

**Q** 克雪住宅の普及、集落内のコンパクトな集合住宅導入の検討を。

**A** 中長期的視点で持続可能な住環境の在り方を検討する。

**Q** 大雪によるバス路線運休の代替輸送の有無と受診が必要な住民への配慮は。地域の共助を求めめるのであれば、防災ラジオでの呼びか

けを。

**A** 代替輸送はせず、日ごろから自治会長や民生委員に対応依頼。防災ラジオの呼びかけは検討する。

**Q** 沢口地域の児童館を閉館した経緯、居場所として必要性の理解を。

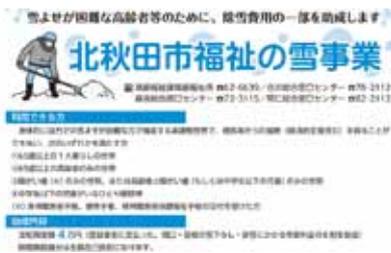
**A** 小学校統合の際、説明会を開いて納得してもらった。再開は現実的でない。

**Q** 鷹巣中学校の保護者の送迎による朝の渋滞、スクールバス運行を現状に合わせて拡大を。

**A** スクールバス要件緩和は、バスの台数や運転手の確保が難しい。

**Q** 子どもの英語力が将来の年収につながる。オンラインでネイティブスピーカーの授業導入で費用対効果も。

**A** 本市の小中学校に外国語指導助手6人を配置。「英語が好き」の率は高く効果を発揮。



市ホームページより

(ふくおか よしみ)  
**福岡 由巳**  
 議員  
 (無会派)



**防災対策の  
 検証はいかに**

**Q** 最近4年連続の豪雨災害の傷跡は今なお残り復旧が急がれる。この度の雪害も対応が後手に回っている感じが否めない。先を読んだ防災体制の充実が求められるがどのように検証されているか。

**A** 検証項目として掲げた目標には達成しなかった。これまでの災害対応を整理確認し、課題を把握し対応改善に生かしていく。

**Q** この度の雪害については高齢者世帯など大変苦勞されている。非課税対象者に限らず政策を充実すべきでないか。

**A** 雪対策に対してもう一度検証していかなければならないと思う。真摯に取り組んでいきたい。

**Q** 4年連続の豪雨災害は合川地区においては小阿仁川があるが質問

するのは、市に関係する準用河川田の沢川でここも4年連続の災害となった。抜本的な改修が急がれるがどのように考えているか。

**A** 被災箇所のみでの復旧では根本的な解決に至らないという考えもあり上流部分も含めて検証したい。

**Q** 防災マップでは土砂災害特別警戒区域と指定している消防署旧合川分署の法面崩落があったが前回被災されたまま放置されていた。どのように検証しているのか。

**A** 通告にないので答弁できない。

**Q** 合川地区には豪雨災害等のための大きい避難所がない。旧合川東小体育館は屋内相撲練習場にして現在は放置され土俵はひび割れの状態。使用できるのではないか。  
**A** 電気も水道も通っていないので避難所としては考えていない。



田の沢川の氾濫で市道が寸断

道の駅たかのす外観イメージ図

**【施設リニューアル概要】**

新たに建設予定の道の駅棟には

- ・物産等販売施設
- ・レストラン及びテナント飲食店
- ・子育て応援施設
- ・アウトドア拠点施設  
 (モンベル直営店、ツーリストセンター)
- ・道路情報発信施設
- ・24時間トイレ、授乳室、シャワー室を配置する予定となっている。

**【概算事業費】**

国庫支出金	約12億2千万円
地方債	約16億2千万円
一般財源	約5億3千万円
合計	約33億8千万円



**特集(市が提案する)  
 道の駅たかのすリニューアル計画**

※注) 現在、基本設計中のため、施設概要及び概算事業費は確定したものではありません。

## 議会の動き

<1月16日～3月15日>

1月

- 16日・総務文教常任委員会所管事務調査
- 27日・令和8年北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合議会定例会
- 30日・秋田県市議会議長会定例会
- 31日・第17回北秋田市民スキー大会兼第69回北秋田学童スキー大会

2月

- 2日・議会運営委員会
- 4日・議会運営委員会
- 6日・全国高速自動車道市議会協議会第52回定期総会
- 12日・本会議
  - ・秋田内陸縦貫鉄道北秋田議員連盟研修会
  - ・広報広聴特別委員会
- 13日・本会議
  - ・議会運営委員会
- 16日・本会議 一般質問①
- 17日・本会議 一般質問②
- 18日～19日
  - ・総務文教常任委員会
  - ・市民福祉常任委員会
  - ・産業建設常任委員会
- 26日・3月定例会（最終日）
  - ・議会運営委員会
  - ・議員連盟臨時総会
- 28日・北秋田市スポーツ賞表彰式

3月

- 9日・広報広聴特別委員会
- 12日・議会運営委員会

### 議会を傍聴してみませんか？

市議会では、皆さんの生活に直結した重要な問題を審議しています。開かれた議会を目指し、どなたでも本会議の傍聴が可能となっていますので、ぜひご覧くださいようお待ちしております。

次の定例会は6月の予定です

各常任委員会の会場

- ▷総務文教 ▷市民福祉
  - ▷産業建設
- いずれも会場は本庁舎

## 広報広聴特別委員会 2年間ありがとうございました。

この4年間、2期にわたり議会広報の編集委員長を務めさせていただきました。紙面へのご意見をいただくたびに、「読んでくださる方がいる」という何よりの励ましとなり、日々の編集作業に力をいただけてきました。今号が今任期の最終号となります。これからも『ぎかいの杜』が市民の皆様にも親しまれ、議会との架け橋として育っていくことを願い、委員会を代表し感謝を込めてご挨拶申し上げます。



委員長 五代儀 義富

## 皆さまからの請願・陳情と意見書提出

件名	請願・陳情者	結果	意見書
インボイス制度の廃止をめざし、事業者の負担を軽減する経過措置を継続するよう求める意見書を国に送付することを求める陳情	秋田県商工団体連合会 会長 小玉 正憲	採 択	提出
「最低賃金」の改正と中小企業・小規模事業所支援の拡充を国に求める意見書」の採択を求める陳情書	秋田県労働組合総連合 議長 高野 智子 秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 奥井 明子	採 択	提出
森吉山荘の温泉と食事提供を含めた再開を求める陳情	前田地区活性化推進協議会 会長、桂瀬自治会長 白沢 光慶 前田地区活性化推進協議会 副会長、新屋布自治会長 大淵 邦三 前田地区活性化推進協議会 副会長、惣内自治会長 金沢 照男 前田地区商業会会長 柴田 裕 前田駅商店会会長 矢郷 康幸 森吉山麓村おこし会会長 池田 文明	不採択	—

## 市議会へのご意見を募集しています

- 対 象 市内在住又は通勤通学をしている方
- 方 法 手紙、FAX、メールなど（文字で読める形式のもの）
- 公 表 ホームページや広報紙で公表する場合があります。
- あて先 〒018-3392  
北秋田市花園町19番1号 北秋田市議会事務局
- メール gikai@city.kitaakita.akita.jp
- FAX (0186) 62-4845

